夕刊
新京日日新聞
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河
編輯人 松本
印刷人 谷

世界貿易戰に
積極的主義に邁進
消極的妥協政策を棄てる

〔東京六日發國通〕英米各國は我國貿易上の優位を壓迫すべく夫々經濟ブロツクの

『結成』を劃し愈々邦品の進出に牽制を加ふべく經濟戰爭を展開し始めたことが注目されるが、我國政府の右に處する方針はロンドンに於ける日英民間協議會又はシムラ會商などに臨むに當り徒らに妥協によつて英國よりの經濟戰線の擴大を防止するが如き見解を持してゐるものと觀られるに至つたので商工省内部では斯くの如き經濟非常時に於て先方の言ふが儘に妥協迎合を事とする態度を以つて臨むに於ては更に將來これ以上の高率關税の附加となり、第二第三の高率關税に見舞はれる素地を作ることになるものとしてこの際出來るだけ輸出統制の如き方策を以つて背水の陣を敷き我國優良商品の價格の低廉を

『武器』として世界貿易戰に新市場獲得の積極活動に力を入るべきであるとの積極論が有力化して來てゐる

一、公債と低利借替政策は未だ時期尚早である理由は赤字公債の將來に於ける目やすがついた爲め新たに發行される低利借替公債が大部分賣れるか如何かの確信がないからである

國債四分利時代 實現確實

〔東京六日發國通〕最近一流公債四分半利時代出現して神戸市債の四分半利低利借換、興業債券、勸業債券と續々發行、本年度の未募集國債四分利發行は愈々確實で大藏省でも研究中であるが九月四日及び二十五日には期限到來の大藏省券額一億圓の借換へを機會に九月上旬頃發行額二億圓發行價格九十七圓から九十八圓、償還期間十三年から十四年で發行の筈である

明年度陸軍豫算 五億七千四百萬圓

〔東京六日發國通〕滿洲事變費は本月中に大藏省に提出の豫定で目下陸軍省で研究して居るが大体一億五千萬圓見當となる模樣である卽ち本年度の一億六千五百萬圓より幾分減る模樣である、右を先に提出の四億二千四百萬圓に加算すると明年陸軍總豫算は五億七千四百萬圓で本年度より一億一千七百萬圓の增額となる

明年度新規要求 半額以下に削減せん
總豫算二十億に止めん

〔東京六日發國通〕明年度豫算は大体大藏省に出揃つたので主計局では今週から各省會計課長を招き説明を聽取い十月末の大演習前後に豫算閣議を開き最後的決定を爲すべく準備中であるが今迄判明の新規要求は左の如し(單位百萬)

外務 三 內務 一六五 陸軍 二〇八 海軍 四三〇 司法 四 文部 三三 商工 七 遞信 一八 拓務 一五

合計九億千四百萬で今後決定する滿洲事件費一億五千萬、其の他合せば明年度新規要求總額は十二億を突破すべく主計局では出來るだけ總豫算廿億に止める樣新規要求も半額以下に大斧を揮ふ模樣である

大藏省 九月以降 公債政策決定

〔東京六日發國通〕大藏省理財局では過般來本年九月以降に實行すべき公債政策に關し協議中だつたが、左の方針を得たので近日中高橋藏相に上申の上最後の決定をなす豫定である

一、公債の利率は四分、年限は十二年乃至十三年とする方針

產業調査團 一行歸る

〔吉林六日發國通〕吉林省樺甸縣奥地の資源調査を目的とする產業調査團一行十七名は立花良介氏を團長に岡少將を顧問とし警備隊三十名に護られ馬上姿も甲斐々々しく去月十九日吉林を出發して以來凡ゆる困難と危險を排擊しつつ實に三週間に亘る一大歷史的試みに成功、險路難行を冒して調査を完了し五日盤石より吉海線で吉林に歸來した、尚一行は息つく間もなく六日午後一時吉林發七日威虎嶺に於て森林調査を行ひ七日午後新京に到着の上新京神社に於て解團式を行ふ筈である

南洋貿易確保のため 南洋協會から 商議員を特派

〔東京六日發國通〕支那印度の市場が封鎖の形で南洋貿易は我國として最重要視される立場に立つたが、南洋殊に蘭領印度はオランダ政府の保護貿易策、英國政府のオランダ向あるので南洋協會は三名の使節をシヤム、ジヤヴア、スマトラに特派二ケ月に亘り先方當局及び貿易商と意見を交換せしむることに決定した

七月中 大連手形交換高

〔大連五日發國通〕大連手形交換所に於ける七月中の手形交換高は金勘定三萬八百八十二枚、金額一億六百九十七萬三百五十三圓、鈔勘定六千八百四十六枚、金額五千五百五十五萬五千七百九十二圓であるが之を前月交換高に比すれば、金勘定百十七枚減、金額百十三萬九千三百九十圓增、鈔勘定九百六十五枚減の金額百一萬七百三十四圓の增加を示してゐるが、右の如く枚數に於て減少し金額に於て增加したる理由は當月に於ては滿洲電信電話會社の申込及び拂込等があつたのと滿鐵その他の六口預金の移動に依るものと觀らる

勇躍南洋へ 出帆 南洋拓殖練習生

〔東京六日發國通〕文部省の新しい試みとして第一回南洋拓殖練習生徒として全國農業學校から選拔した神奈川縣平塚農學校五年生卅餘名の練習生は六日午前七時宿舎の日本青年館を出發し、先づ二重橋前に至り宮城を遙拜し、午前十時橫濱出帆の天城丸で一路南洋に向け勇ましく渡島立つた

石油界の強敵 松方氏の輸入油着荷 來月から市場へ

〔東京六日發國通〕內地石油界に一波瀾を豫想されてゐる松方氏の一萬一千噸のユーカサス產ガソリンを積んだ第一船ノーレ號は豫定より遲れて六日午前十一時鶴見埋立第一岸壁に到着し、正午から汲み揚げ作業に着手した、今月末から愈々市場に賣出される筈である

滿洲に於ける建築に就て(二)
關東軍司令部 陸軍技師 原田廣

熱河地方建物の形式は種々雜多で各々其の土地に產する材料を用ひますので、壁は煉瓦造のもの割石積のもの又は粘土積等が有り、屋根も亦粘土造りのカマボコ形や或は草葺等色々になつて居ります

各地方共家の周圍には建物の壁と同じ構造で塀を廻らし金持の家は隅に鐵砲を打てる穴を明けた櫓を作つて馬賊の襲擊に備へて居ります

×

蒙古地方蒙古人の大部分は牧畜が職業で、羊や牛馬と一諸に水や草を追ふて放浪する關係上多くは移動の出來る組立式テント張りであります、雜木が有りますので直徑一二寸位のものを網代に編んで骨とし折疊式とし屋根も日本の傘の樣な形として組立てゝ家を造り之に羊毛で出來たフエルトを掛け繩で縛り天井の一部のフエルトを切つて天窓とし繩を引いて開閉し光線を採つたり煙拔きにも使つて居ります

此の「天幕」は茶碗を伏せた樣な形で差し渡し七、八尺から十七、八尺位高さ十二、三尺位床は木製の低い台を用ひ燃料が無いので牛馬糞を乾したものを燃して炊事もすれば暖も取つて居ます、此の狹い中に生活上必要な最小限の道具が備へられて居ります、勿論テントが小さくて一家族住むことは出來ないので大低一家族で三、四個から五、六個位を持ち其等が一群となつて其の周圍には之れを解いて運搬する車が五六台あります、此のテントを解いたり組立てたりするのは女の仕事で一時間もかからないで出來る簡單なものであります

同じ蒙古でも村や町に行きますと北滿地方同樣な家も中にはあります

海拉爾の町などは露西亞建築の影響も受けて壁厚は三尺以上あつて相當な町を造つて居ります

各地方を通じて大きな町の家は支那の暑い煉瓦造りで二階建も多く壁は厚く入口や窓は扉が二重になつて居り天井は漆喰を塗つたり又は紙張りで暖かい空氣の逃げない樣に出來、部屋を煖めるのはペーチカと申しまして煉瓦造の露西亞式煖爐で之れは一日に一回焚けば良ろしく之れは大變暖かなものであります

歷史的の建物では滿洲には方々の町に高い塔がありまして著名なものでは奉天には喇嘛塔があり遼陽には白塔があります、喇嘛塔は滿蒙の表象で其の形は瓢箪を引き延ばした樣な美しいもので旅行者が遠方からこれを眺めて其の町が見える喜びと一度汽車の窓から見ると忘れ難い印象を殘すものであります

其の內でも奉天の塔は舊城外の東西南北四ケ所にありまして奉天を鎭め護る爲に清朝の太宗皇帝が三百年前に造つたもので一番有名なものであります

遼陽の白塔は高さ二百五十尺(丸ビルの二倍半)で滿蒙第一の高い塔で遼陽が元朝鮮に屬して居たとき高麗時代卽ち七、八百年も昔のもので形は八角形で十三重になつて居ます

×

奉天の宮城

奉天城內には清朝初期に工事を初めて約百年の長年月に渉つて次ぎ次ぎと完備された宮殿が殘つて居ります滿蒙では唯一つのもので支那全体から申しましても完全な宮殿建築として北平の紫禁殿と奉天のこれとの二つでありませう

中央に正式の儀式に使用されるところの日常の便殿、或は皇后や皇子等の住居がありまして東の一角に公式の政治向きの建物、西の方に文庫や娛樂的の建物があります

建物は滿洲の建築としては相當立派なもので切妻造りになつて居ります建物の前庭に左の方に陽時計と右の方に衡がありまして天下を治めるものは時計や度量衡を正しくすることが必要であると言ふ事の意味合と裝飾を兼ねたものであります、住居の部屋には前回に御話しましたオンドルの設備があります、此の一角には芝居をする舞台があります

日本の能舞台の樣なもので一般の見物人は周圍の廻廊とや露天で見る樣になつて居ります

珠玉を碎く (八十)
吉井勇 (高根秀浩畫)

罪なき罪(六)

三人は暫らく默つて、互に顏を見まいとする樣に首垂れてゐた。莊太に取つて妙子のこんなに朝早い訪問は、全く意外であると同時に、何となく彼めたいやうな心持もするのだつた。自分がこれまで勤めてゐた工場主の娘が、一職工に過ぎない自分のところに何のために來たのだらう。それは妹の純子とは以前の學校友達といふ間柄だから、時々訪ねて來るのも當り前のことだが、しかし莊太には、何うもそればかりとは思はれなかつた。もう近頃では心やすくどん〳〵二階へ上がつて來るやうになつてゐた。

で、そのうち妙子は顏を上げて、

『ねえ、純子さん。あなたカフエを廢めたんぢやあ、失禮なことをいふやうですが、差し當りお金にお困りでせう』

さう訊かれると、純子は何といつて返事をしていゝか困つたやうに、兄の顏色を窺ひながら、

『えゝ、そりやあ困つてゐますけれど……』

『さうでせう。それではね、あたしこゝにお小遣ひを二十圓ばかり持つてゐますからこれを御用立して置きますわ』

さういつて妙子が帶の間から紙入を出さうとすると、莊太はそれをさへぎるやうにいつた。

『いや斷つてなんぞゐません。そんな御心配はなさらないやうになすつて下さい』

『しかし……』

『いゝえ、いけません。あなたのお金は受取れません』

『何うして……。何故あたしのお金は受取れないんです』

妙子はさう言ひながら病に窶れた莊太の顏をぢつと見詰めた。

『あなたは鈴木家の娘ぢやありませんか。僕をこんな體にしてしまつた工場主の娘ぢやありませんか。あなたの持つてゐる金は、僕等の汗の塊のやうなものです。僕にはこんな金は使へませんよ』

『それぢやあなたはあたしを憎んでいらつしやるの』

妙子の目は微に涙のために滲んだ。

『いゝえ、憎んではゐません。しかしあなたから金を受取る氣には何うしてもなれません』

『そんなことを言つて、あなたは病氣で寢てゐるし、純子さんはカフエを廢めるしして、これから何うなさるおつもりなんですの』

と、莊太はむしろ棄鉢な心持で自ら嘲るやうに笑ひ聲を立てた。

『はゝゝゝゝ。何うにかなりますよ。まさか餓えて死ぬやうなこともありますまい』

『しかしあなたはさういふ心持でゐられるかも知れないけれども純子さんがお可哀さうぢやありませんか』

『可哀さうです。僕だつて純子が可哀さうとは思つてゐます。しかし僕には不正の金や不義の寶を受ける譯には行かないのです』

莊太の目は黑い炎のやうに燃え上つてゐた。

『それぢやあなたはあたしの持つてゐるお金を不正の金だと仰しやるんですか』

『えゝ、僕の目から見れば不正の金です』

莊太はさういひながら疊の上に置かれた指環の方に目を注いで、

『その指環だつて不義の寶です。それだから僕は純子に、早く行つて返して來いといつたのです』

莊太はさういつたかと思ふと、ふら〳〵とそこに俯伏しに倒れた。

『あゝ、兄さん……』

さういひながら純子は急いで床の上に抱き上げやうとしたが、不圖手の觸れた額の熱いことが、先づ彼の女の膽をわなゝかせた。

政界を再び

五一五事件に歸さんとするもの

政黨聯合、無任所大臣入閣で貴族院頗る憂慮

〔東京六日發國通〕貴族院では無任所問題については、政民兩派で自黨閣僚を送りながら今更兩黨總裁を入閣させる眞意を諒解するに苦しんで居る、殊に鈴木總裁は最近是々非々主義に歸つたばかりである、眞に憂國の精神があるなら、一大臣として入閣すべきだ、政黨聯合運動に至つては、舊態依然たる政黨の政權獲得運動に過ぎぬ、非常時時局は政黨と財閥の結托したる結果とせば各政黨は自らの機構を反省すべきだ

五、一五事件の手段と方法には反對だが其の主張には傾聽すべきものがある無任所大臣問題といひ、政黨聯合運動といふも憲政常道の假面の下に政界を再び五、一五事件に歸さんとするもので貴族院としては、贊成出來ぬとの意見有力である

鈴木政友總裁

結局入閣せんか？

政黨聯合論も漸次有力化

〔東京六日發國通〕鈴木總裁は無任所大臣として入閣せぬと言明してゐるが、最近の黨内の情勢を見ると強硬派すら政黨聯合論に共鳴し來り、政友單獨内閣說を放棄するの情態にある、政黨聯合論の根據は單に政黨獲得の手段ではなく政黨の信用を恢復せんとの純眞なる意圖があるものの如く、無任所大臣問題の如きも當然容認せざるを得ぬ情勢にあり、鈴木總裁としても黨の内部より慫慂せば結局前意を飜へし入閣せんと觀測されてゐる

黨總裁が無任所大臣として入閣する事に就て熱意を有して居るのを確め得たので文相と計つて前記の準備工作に歩みを進めるものと信ぜられてゐる、之に對して鈴木總裁は明確なる意志を表明せず政友會全体として無任所大臣入閣の意向が纏つて居る譯でなく、又無任所大臣制度實現に就ては樞密院其他の關係を考慮せる結果となり憲政常道への復歸を齎す事となれば國家の爲政黨信用恢復の捷路であり憲政常道であらうと觀て居る

暑中明と共に

政局に一大轉換か

無任所大臣問題に鐵相も贊成

〔東京六日發國通〕無任所大臣問題は今後の政局動向を決する重要問題でこれが熱心な主唱者たる高橋藏相の心境は注目され齋藤首相も結局高橋藏相の熱意に動かされんとする情勢にあるので三土鐵相は高橋藏相を訪問し藏相の心境を問ふと共に政友の情勢を報告したと觀られてゐる、その結果三土藏相は高橋藏相の意見に贊成し暑中明け九月となれば問題は急轉し政局の一轉換を豫想される、辻堂別邸で三土鐵相は語る

高橋藏相は政黨の信用恢復のため兩黨總裁が入閣するのが最善と考へ、これに對し政友會内に贊否兩論あるが鳩山文相も自分も贊成だ

鳩山文相等

鈴木總裁の無任所入閣を運動

〔東京六日發國通〕鳩山文相等は次期政權に近付く『捷徑』として政友會の方向轉換を企圖し從來の對政府關係を清算すると共に轉落の虞れある鈴木總裁の地位を固める一石二鳥の方策として無任所大臣問題を活用せんとし、高橋藏相と親しい三土鐵相と協力して無任所大臣として鈴木總裁の入閣し得るに必要なる準備工作をなしつゝあると觀られる、五日鐵相が葉山に藏相を訪問したのは之に對する藏相の意向を探らんとしたものである、而して其の結果鐵相は藏相が依然として政民兩

民政黨の意見

〔東京六日發國通〕民政黨では政友會内の政黨聯合論に次の如き見解を有してゐる即ち鈴木總裁自ら若槻總裁を訪問し政黨の連繫を懇談するか、或は兩派有志の準備成つたる上で兩黨總裁が會見するか、何れにしても政友會が從來の主張を一擲して誠意を示すべきだ、依然政友會が政權本位で策動するなら申込に應ぜられぬとの意見有力である

九島問題で

軍部方面甚しく憂慮

『外務省の措置手溫し』

〔東京六日發國通〕嚢に佛國政府が先占を宣言した南支那海九島に對しては外務省で愼重調査中で佛國の宣言に對し我國が抗議を提出する權利を留保すべき通告を爲すべき準備を整へて居た處今回佛國政府が去る一九三〇年當時のサイゴンに於ける日本領事が右九島中の一部に於て燐礦採取の認可申請を印度支那總督へ二月又目下の處では右認可申請を爲したる問題は今回の九島問題とは全然別個のものらしい

而も右問題は目下の處當局は目下調査中にして眞相判明せざるも二、右九島中我國のラサ燐礦會社の事業を中止せるは一九二九年なるを以て三〇年に至りて日本領事が佛國側に斯る申出を爲す筈無しと抗議を一蹴せんとしてゐる、しかしながら右に對し我外務當局は色々その理由を以て日本の

なして居るもの、何れにしても帝國領土附近に發生せる斯る領土先占問題の如き重大問題に對して我外務當局が可及的速に適當なる措置を執らざることについては軍部其他の方面から甚しき憂慮を以て迎へられてゐる

近く我が政府から

抗議提出せん

〔東京六日發國通〕南支那海諸島占有問題を繞りフランス政府は反證を擧げフランスの先取權を主張して居るが、我外務省では昨日午後右群島を探險したる東北帝大の中村博士所藏の資料が昨五日重光次官まで提出された外纖々資料が集まるので、遲くとも來週中にはフランス政府に抗議通告の手續きをする筈である尚ほ一九三〇年日本領事が佛領印度總督に對しグアノ燐礦燐酸肥料採取の許可を要求したそのフランス政府の反證に對し外務當局は他の島と混同してゐると一笑に附してゐる

沈氏令孃の結婚式

〔ハルビン六日發國通〕北鐵督辦公處顧問沈瑞麟氏令孃小姐と豫て婚約中なりし督辦公處員楊彥和氏との結婚式は六日午前十時北鐵倶樂部にて華々しく擧げられた

帝國農會

岡田溫氏着連

〔大連六日發國通〕六日より大連に於て開かれる滿鐵農事講習の農事經營、農家經濟に關する講師帝國農會幹事岡田溫氏は六日來連した

齋藤首相

時局談

〔葉山六日發國通〕齋藤首相は六日葉山一色の別莊に於て次の如く時局談を試みた

新豫算は八年度のものを越へない程度にしたいと考へて居る、否寧ろ赤字公債やその利子は何等かの方法で減らして行きたいと思ふ、然し問題になつて居る增稅は九年度からは出來ない、大藏大臣の考へて居られる樣に出來るとしても十年度からではなからうか、無任所大臣問題は前から考へて居る、形式ばかりでなく本當に精神的にも擧國一致の實を擧げるためにも是非とも實現して欲しいと思つて居る、斯ふ云ふ事はその氣分が濃くなつて來た上でないと却つて失敗するものだから今その時機の熟して來るのを待つて居る譯だ、時機が來れば自分から鈴木總裁なり若槻總裁なりに直接

政黨聯合の前

兩總裁が入閣せよ

これが政黨信用恢復の捷路

〔東京七日發國通〕政府は政黨聯合問題に對しては深甚の注意を拂つてゐる

即ち此政黨聯合運動は表面政權獲得の手段でなく政黨が此非常時を認識し聯合に依つて國家の爲貢獻せんとするものであると爲してゐるが、此政黨聯合が政黨の信用を恢復する結果となり憲政常道への復歸を齎す事となれば國家の爲結構である、然し此運動が未だ政黨革新成らずと觀て居る方面をして聯合に依つて無理押をせんとするものとして刺戟するが如き事あれば面白くない結果を招來する虞ある故政民兩黨は政黨聯合の前に先づ總裁を無任所大臣として入閣せしめ誠意に貢獻する事が政黨信用恢復の捷路であり憲政常道であらうと觀て居る

民政黨側の意向

〔東京七日發國通〕政黨聯立問題に關し政友會内に最近頻に其聲があるに對し民政黨側の意向は大体次の如くだ

目下政友會内で唱へられてゐる政黨聯合運動は其目的が那邊にあるか明瞭でないが政黨内閣には勿論主義として贊成だ、現在政民兩派代表者を送つて現内閣は支持してゐるから若し現内閣を倒す事を前提として次の政權を目的とするものであれば代表者を双方共現内閣に置き乍ら聯立に反對する

『尚ほ』 迂余曲折があるだらうが、暑休後九月に入つてから本問題は政黨聯合問題と相表裏し、政局の前途に橫はる中心問題として現はれるものと觀られて居る

ねばならぬから

政府は政黨聯合より

總裁の入閣を先決問題とす

〔東京六日發國通〕政友會内に有力になりつゝある政黨聯合問題に對し、政府は右は早計である、政黨の聯合の前に先づ總裁を無任所大臣として入閣せしめ國策に貢獻することが政黨信用恢復の近道であり、憲政常道復歸への方法であるとの

となれば政治道德上不合理だ聯立問題に政黨の一方若くは双方が承諾を與へぬ場合はまづ現閣僚を引揚げてからでなければならぬ

政友内部

反對者無し

〔東京七日發國通〕政黨聯合問題に對する政友會の態度は過般の總務會其他に於ても議題となつたが大體に於て反對者無く聯合運動者に對しても自然の發達に委せることとなつて居り聯合論者も議長官舍其他に集合して黨内の聯合空氣の更生に努力してゐる程度の狀態である、目下の處強硬な反對意見はないけれども政黨聯合によつて果して豫期の成果を收めるか否かについて疑問を懷くものもあり、更に鈴木氏の無任所大臣としての入閣問題もあり政黨聯合の空氣は濃厚であるけれども決定といふまでには行つてゐない

お目にかかつて懇談することにならう、自分はつくづく考へて居ることなのだが今年の暮か來年の始め頃から日本は十年なり十五年なりの期限をきつて財政なり教育制度等の根本的建直しの大計畫を樹立しなくてはならなくなると思ふ、其の時には内閣が變るごとに方針がぐらついて居ては何んにもならぬ、例へ内閣が變らうとも政策は決して變らぬ樣にして置かねばならぬ、どうしても眞の擧國一致が必要だ

國同山道氏談

〔東京六日發國通〕國民同盟山道氏は左の如く語る

安達總裁は一昨年政黨強力說を提唱したが今でも政黨聯合論が具体化せば國家の爲喜ばしい、但し政黨の自覺が先決問題であつて超非常時に際しては政黨人は虛心坦懷協力し、國難打解に邁進すべきである

印棉代品に

ブラジル棉

積出さる

〔大阪六日發國通〕ブラジルサントスよりの大阪商船着電によればブラジル棉花の第一荷六十六俵は八月十三日リオデジャネイロ發のアリゾナ丸で積出され、十月七日神戸で荷揚げする筈

日本ビール界大繁昌

ヤンキーのお客さんが出來

〔東京五日發國通〕米國の新市場出現に依り全日本のビール會社の製產は百萬石を突破し、黃金時代を來した

抗日總司令馮玉祥

下野の通電を發す

軍權を中央に返還の決意

〔北平六日發國通〕抗日總司令に就任し抗日反滿の陰謀を廻らしてゐた馮玉祥は日滿軍の追擊並に中央よりの壓迫に堪ねず五日下野の通電を發した、尙ほ馮は中央に對し兵權其他一切を返還すべきにより接收委員の派遣方を要求したが、近く宋哲元は部下と共に察哈爾に歸ることゝなり紛糾を觀た察哈爾問題も一段落となつた

ナチスの反墺宣言に

英佛から抗議

〔ベルリン五日發國通〕獨墺關係の惡化に伴ひフランスが主唱者になつてドイツに對し何等かの行動に出ずべき事は豫てより豫想されてゐた所だが果然ベルリンに在る英佛兩國大使は本國政府よりの命令により五日朝ドイツ政府に對し、ナチスの反墺宣傳に關する抗議書を手交したその要旨左の如し

我々は此抗議書を四ケ國協力條約の前文に基いて提出するものであるが、右前文は特に此抗議書に示された如き點に言及して居り此意味に於て我々は之がドイツ政府に對する最も有效的な方法であると思惟する、我々はナチスが墺國に干涉する事を以て危險な結果を產むものと思惟し茲に深甚の考慮を拂はれん事を要請するものである

移民研究打合せに

京大戶田將三博士來滿

〔大連六日發國通〕京大醫學部長戶田將三博士は移民の衣食住に關する綜合研究打合せのため六日はるぴん丸で來滿したが、氏は語る

滿洲移民の衣食住は京大と滿洲醫大が綜合研究中ですが要は現在滿洲人の原始的なのに科學力を加へ文化的なものにしたいといふ點にあるのです、食住の方は滿洲醫大の三浦、安部兩教授がやつてゐますが衣服の方は私の方の教室で研究中で木綿で毛糸を代理するものを試作中です、これから旅順に行つて關東廳移民衞生調査會に出席後奉天新京に行くつもりです

關東軍前線將兵の俸給平時引下

今秋十月治安狀態を見て

〔東京五日發國通〕關東軍前線將兵に對する俸給々與等を現狀のまゝ戰時及び事變に準じて繼續すべきか又はこれを平常の待遇に引戾すかにつき目下陸軍中央部と關東軍司令部との間に折衝中であるが、髙粱繁茂期を過ぎた今秋十月頃の滿洲國内の治安狀態が略今日の狀態であれば十月頃を期して平時の待遇に引戾すべしと云ふ意見が有力である、之が實現すれば現在の關東軍の增俸率五割が四割に減じ且旅費及食費の官給が各個の負擔となる譯である、此の結果大体年額四千九百萬圓が節約される計算ではあるが奧地にある部隊に對しては種々の都合上直に平時に引戾すことが困難で是非共臨時便法を必要とする關係上右實施に伴ふ節約額については當分大きな期待が出來ぬ形勢である

中歐の癌

解消

ポーランドとダンチヒ紛爭解決

〔ワルソー五日發國通〕ポーランド政府は豫てダンチヒ自由市代表と中部ヨーロッパの平和維持に關する商議を進めつゝあつたが、この程漸く協定に到達し、兩國代表間に正式調印を行つた、斯くして久しく中歐政局の癌と稱せられてゐたポーランドとダンチヒ市の紛爭は茲に圓滿解決を見るものと期待されてゐる

青年學校明春から實施

實業補習學校と青訓所合併し

〔東京五日發國通〕實業補習學校と青年訓練所を併合統一して青年學校を創設し全國千萬の青少年を義務制として入學せしむる文部省案は陸軍側で最初青年訓練所指導精神が沒却される虞れありとし、青年學校とせず訓練所とした方がよいと主張した爲本年度からの實施は出來なかつたが陸軍でも訓練所の精神さへ存立されゝば、名稱は青年學校で差支へないと讓歩したので、本年中に文制審議會へ諮詢し來年四月から實施の方針で文部省の社會教育課では其の成案を急いでゐる、青年學校は豫科二年、本科三年、高等科一年で小學校卒業者で上級學校に行けないもの全部に夜間又は職業の餘暇に公民的修身的一般普通教育と訓練を施さんとするものである

その日く

□政黨聯合、無任所大臣入閣これ悉く政權獲得への政黨者流の野望に過ぎぬ

□貴院、再び五、一五事件へ政界を導くものと憂ふ、含味すべきこと

□奉天で滿洲國軍人、サーカスの無料入場を拒否され邦人を殺傷、日滿兩國のため嚴たる處分を望む

□けふ武藤元帥の葬儀行はる、誰か圖らん銃槍の犁鋤に交ふを

人事往來

▲照財政部總長六日正午來京
▲榮孟枚氏（吉林實業廳長）同上
▲永田秀次郎氏（拓殖研究團々長）六日午後七時五十分來京
▲ブロンソンレー氏（外交部顧問）六日午後四時三十分南行
▲喜多大佐（關東軍參謀）七日午前八時來京
▲小山中佐（新京憲兵隊長）七日午前八時三十分吉林へ
▲三浦書記官（大使館）七日午前八時四十分ハルビンへ

團体

▲岡山縣會議員團十三名七日午前九時大連へ
▲咸鏡北道視察團二十三名七日午後三時二十五分來京
▲和歌山縣教育團三十九名七日午前六時四十分來京
▲大阪福島商業生二十四名七日午後四時三十分奉天へ
▲名古屋高商生三十名七日午前九時五十分奉天へ
▲某徒研究團第一第四分團五百九十三名七日午後四時來京
▲同第二分團三百十八名七日午後三時三十分來京
▲同第三分團二百八十一名七日午後三時二十五分來京
▲京城商工團五名七日午前八時來京
▲豐橋教育團十八名午前八時四十分ハルビンへ
▲大正大學支那文學部生十名七日午前六時四十分來京同午後四時三十分大連へ
▲廣島教育團三十九名七日午前八時四十分ハルビンへ
▲日系米人學生十二名七日午前八時四十分ハルビンへ

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊	一七片八分七
同　選限	一八片一〇分〇
紐育銀塊	三五仙八分七
孟買銀塊	本日休會
米英爲替	四弗四九仙八分五
米日爲替	二七仙二五仙
米支爲替	二八仙〇〇
スチール株	休會
アナゴンダ株	休會

▲棉花

●米棉

現物	一〇仙一五
九月限	一〇仙一六

各地市場

▲上海標金

十一月限	[illegible]
一月限	[illegible]
三月限	[illegible]
五月限	[illegible]
七月限	[illegible]
昨止	[illegible]
高値	[illegible]
安値	休
本寄	[illegible]
歩値	會

▲大連金鈔票

現物	[illegible]
近付	[illegible]
寄付	[illegible]
歩値	[illegible]
引止	[illegible]
高値	[illegible]
安値	[illegible]
出來高	不申

▲大阪三品

當限	[illegible]
九月限	[illegible]
十月限	[illegible]
十一月限	[illegible]
十二月限	[illegible]
一月限	[illegible]
先限	[illegible]

▲大阪棉花

當限	[illegible]
限	[illegible]

▲大阪期米

當限	[illegible]
中限	[illegible]
先限	[illegible]

▲大阪株式

大株新	[illegible]
大新	[illegible]
鐘紡新	[illegible]
同	[illegible]

▲同短期

大新	[illegible]
鐘新	[illegible]
東新	[illegible]

新京市況

大豆	現物	[illegible]
	出來高	一車
高粱	現物	四圓七〇錢
	出來高	三車
鈔票對金票		[illegible]
現大洋對金票		[illegible]
國幣對金票		[illegible]
大洋對鈔票		[illegible]

優渥なる御沙汰と祭粢料御下賜
七日武藤元帥の葬儀を前に

（東京六日發國通）天皇陛下には故武藤元帥の葬儀が明日と聞こし召され午前十一時勅使を御差遣遊ばされ、優渥なる御沙汰と祭粢料を賜はつた

關東軍司令部で
故元帥の遙拜式擧行

輝かしい幾多の功績を殘し、長逝した不世出の沈默將軍故武藤元帥の葬儀は七日東京日比谷公園に於て盛大に擧行されたが、この日關東軍司令部では午前十一時三十分全員司令部營庭に集合、東方を遙拜終つて各部長及幕僚は西本願寺に赴き燒香をなした

產業學徒研究團
けふ新京に勢揃ひ
全員千二百三十名にのぼる
日滿親善の使ひ

日滿融和親善を目標に向學に燃ゆる若き學徒により結成された滿洲產業學徒研究團千二百三十名は約二旬に亘り新興滿洲國をつぶさに研究踏査し正しき滿洲國を認識すると共に將來滿蒙の天地に飛躍する備へとなす一方日滿青年の堅き握手により兩國緊密の度を益々深からしめ、七日全員は新京に落合つたが同研究團の新京に於ける行事は次の如くである

新京に於ける行事

一、七日
全員（千二百三十名）到着
第一分團（農科班）西廣場小學校
第二分團（工科班）高等女學校
第三分團（法、經、文科班）商業學校（本部）
第四分團（同　）室町小學校

二、八日
イ、午前七時半、於軍司令部營庭
集合（分列式隊形にて）
感謝狀捧呈式
西中將臨場
永田團長感謝狀朗讀
西中將挨拶
分列
西中將退場
解散
吉林軍樂隊を先導に步武堂々執政府に向ふ
ロ、午前十時　於執政府
賀表捧呈式
集合
執政臨場
敬禮
滿洲國國歌合唱
永田團長賀表捧呈
執政挨拶
執政退場
解散
ハ、午後二時　於西廣場小學校
武道大會
種目　劍道、柔道
選手　滿洲側及學生側より各種　二十名宛
ニ、午後六時　於西公園記念碑前
沼田參謀招待全員會食

三、九日
午前八時　於西公園競技場
日滿青年大會
集合
來賓臨場
開會の辭（日本學生代表）
兩國々旗掲揚
兩國々歌合唱
鄭國務總理挨拶
滿洲青年代表の歡迎の辭
日本學生代表の挨拶
日滿青年代表の握手
兩國萬歲齊唱（永田團長發聲）
閉會の辭（滿洲青年代表）
解散
日滿青年懇談會

四、十日
午前六時　新京出發北鮮經由歸朝

產業學徒を迎へ
柔劍道大試合
いよいよあす西廣場校で
何れも猛者揃ひ

產業學徒研究團を迎へて滿洲國並に新京体育聯盟柔劍道部では八日午後二時から西廣場小學校で產業建設學徒研究團對全新京軍の柔劍道試合を開催することになつた、同試合は兩軍とも四段以下廿五名悉く有段者を以て堂々たる陣容で殊に學徒研究團は千余名の學生の中より選りすぐられた元氣一杯の潑剌たる戰士揃ひで定めて白熱的大試合を演ずるであらうと期待されてゐる

永田團長京着

滿洲產業建設學徒研究團團長永田秀次郎氏は六日午後七時五十分新京着、在京官民多數の出迎へを受け宿舍滿洲旅館に入つた

明大柔道部員來滿

（大連六日發國通）明大柔道部員十七名は六日入港ハルビン丸で來滿した

大連地方法院
廿四日法廷開き

（大連六日發國通）新築竣成の新廳舍に移轉出來ずに居た大連地方法院は愈々二十日頃引越しを完了、二十四日刑事々件の公判を以て法廷開きを行ふことゝなつた

吉林省鏡泊學園生徒
一行百八十一名
大連上陸

（大連六日發國通）滿洲の若き開拓者吉林省鏡泊湖畔學園生徒百八十一名は總務山田悌一、警備司令小池正中佐、職員木下信雄氏以下九名に率ゐられ六日早朝入港のハルビン丸で元氣一杯に來滿した、一行は上陸後大連神社、忠靈塔に參拜し明日旅順戰蹟見學の上新京に赴き軍司令部より武器の貸與を受けて武裝し敎化で暫時滯在準備を整へる豫定

山田氏は船中語る

一行は最年少者十七歲、最高年者二十五歲大低中等學校を出て居ます、これから二年間鏡泊學園で製產事業實習の上政府から土地を貰つて獨立するのですが一行中には建築班も交つて居ります學園では無電をもつて到着と同時に建築に着手し通信聯絡を行ひモーターボートも建造中です、兎に角結果を見て下さい

尙一行は軍用犬通信鳩等も同行して居る

無料入場を斷はられ
滿洲國軍人大狼籍
發砲して死傷者を出す

（奉天六日發國通）大東門外で興行中の富田サーカスに五日午後五時半滿洲國軍人六七十名列をなして押しかけ、無料入場せんとしたので興行者側で之を拒んだ所喧嘩となり毆り合ひ軍人側は突如發砲したので城內大混亂を來し觀客一同雪崩れを打つて逃げ出したが逃げ遲れた藝人三名、賣店員二名流彈に當つて即死し重傷二名を出した、憲兵隊、巡査等出動して滿洲側當局と共同して取調中

死傷者

急報に接した領事館長川檢事は司法係員、大東病院長らと實地檢證を行つた結果、即死重傷者は左の如し

即死　岡山縣眞庭郡木山村演藝人酒井粂吉（三二）頭部貫通銃創、埼玉縣熊谷市石原町富田サーカス團長の妻富田梅子（三五）胸部貫通銃創二發岡山縣小田郡大江村木谷金二郎（五二）胸部頭部貫通銃創大阪市西區新町南通り奉天彌生町伊藤ツル（三二）頭部貫通銃創全羅南道生れ韓河津（二八）胸部貫通銃創を受けそれぞれ悲慘なる死體を場內に橫へて居る

重傷　長野縣東筑摩郡島立村大久保静一頭部打撲傷（重傷）滋賀縣高崎郡今町田川一郎（三五）左肩上部貫通銃創（重傷）他子供一名輕傷を負ひそれぞれ最寄醫院に收容手當中であるが生命は助かる模樣である

馮玉祥の命で
奇怪なる武器輸送
米國旗を掲げて警戒線突破

（奉天六日發國通）馮玉祥の東邊道武器輸送說が屢々傳へられたが當地某所への

＝確報＝　によれば右は單なる風說でなく、愈々根據確實となつた、七月廿五日馮の命により鳳凰城に侵入したる李春潤は實弟李子榮をして廿六日鳳城縣第三區密陰山附近海岸に於て海より輸送の武器を陸揚げせしめたが、武器は迫擊砲、機關銃十挺、自動短銃六挺、拳銃三百挺、長銃二百挺及多數の彈藥で、李子榮は直ちに馬車を徵發して第六區に運搬したものであるが、運送船乘組支那人は南方人らしく彼等との間に言語通せず、然も奇怪なることには武器運送船には米國々旗が掲げられて居り、運送船をアメリカ軍艦が警備に當つてゐたと傳へられてゐるが、之は米國々旗を掲げ海上警備線を突破する一方日米間の空氣を

＝險惡＝　ならしめんとする抗日派流の常套手段と觀られてゐる

すし竹の殺人犯人
憲兵隊で逮捕
共犯も目下嚴探中

昨年十二月十一日附屬地祝町で惹起された邦人婦人殺害事件は

＝當時＝　新京市民に大衝動を與へたが八ケ月を經たる今日附屬地憲兵分隊の手で犯人三名の內一名を逮捕した即ち本年七月上旬憲兵隊密偵と偽稱し伊通縣劉家屯萬山堡で金品を強要する者ありとの聞込みを得附屬地分隊で嚴探中前記偽密偵が附屬地祝町五丁目阿片販賣人鮮人朴向善方に潛伏する原籍奉天省義縣城內無職何榮九（四四）と判明同二十日逮捕し嚴重取調べの結果包み切れず昨十二月十一日午後十時頃他の二名と共に祝町五丁目すし竹のコワク井上方に押入り妻女くま（五四）を殺害せる旨自白した、憲兵隊は直ちに大活動を

＝開始＝　し共犯本籍奉天省伊通縣劉家屯劉四海（三五）同本籍不詳、現在熱河兵卒王德山（二七）を關係各方面に通牒目下嚴探中である

華かな首都の裏面
竊盜、拐帶頻々

伸び行く新京の地面に釀される世相の色彩、一日に犯罪三件

△昨夜八時頃富士町三丁目二十七、富屋食堂（齋藤富藏經營）前で同家所有の黑塗りの自轉車一臺（時價二十圓）が盜難に罹り新京署に屆け出でた

△大分縣中津市大並町三三三中尾大吉氏が五日四時三十分發列車に乘込むべく切符を買ふ中赤革製トランク（時價十五圓）を何者かに竊取され青くなつて新京署へ

△中央通富士タクシー集金人原籍三重縣多氣郡大淀町六九濱口義郎（三四）は同タクシーの集金に赴き集金千三百餘圓を拐帶行方不明となつた、屆出により新京署ではチチハル方面へ高飛したものとにらみ直ちに手配完了

永寶鎭自衛移民
脫退組突如來哈す
小野少佐並に加藤氏交々語る

（ハルビン六日發國通）ハルビン埠頭入港の航行聯合局輪船で何の前觸れもなく突如永寶鎭に於る第一次移民の中の脫退組四十五名及びつい先頃燃ゆる樣な意氣で移住地に乘込んだ第二次移民團中の數名が朔北の安住地を後に悄然ハルビンに辿り着いた、此等農業自衛移民は何故に希望の處女地開墾を放棄したか、故山を忘れ得ぬか

それとも集團移民に何等かの缺陷があつた爲か、此間の消息に就て脫退組に同行來哈せる顧問小野少佐は集團移民の破綻にあらざるを力說して語る

今回の脫退組は單なる不平分子ではない、故郷の家の事情で脫退を餘儀なくされた人達だ

指導官として同じく移民と起居を共にしてゐた加藤氏は語る

兎に角五百名からの人間中百名內外の敗退者でくひ止め得たのは成功だ、これだけ篩にかければ後の連中はしつかり組織されやう

大林駐屯警備軍
匪頭目を斃す

（奉天七日發國通）去る二日午後大林東南方約二十支里の地點（トコロタ山附近）に黑河を頭目とする匪團約五十名來襲せりとの報に接し在大林警備軍駐屯部隊長伊藤騎雄將校は直ちに部下四十八名を率いて出動、應戰一時間半に及び同將校は左足關節上部に貫通銃創を負ひ辛德中尉代つて指揮し敵を西南方コロハラオに壓迫したが敵はこの戰鬪に頭目を斃され午後九時更に南方に向け潰走した

帝都を中心に
大防空演習始まる
三日間に亘つて息詰る科學戰

（東京五日發國通）帝都を中心に一府四縣を舞臺として展開される本邦未曾有の大規模の關東防空大演習は三ケ月餘に亘る

＝準備＝　全く完了して愈々七日千葉縣船橋谷津海岸に行はれるが、壯烈な實彈爆破演習を開幕とし、九、十、十一の三日間に亘つて管下の各部隊始め一府四縣の防護團、在鄕軍人、青年團約卅萬を動員して「守れ！我等の空」のスローガンの下に一齊に活動を開始する事になつた

これに參加する飛行機は戰鬪機、偵察機、輕爆機等數十機に及び、この外アマチユア愛國無線通信隊約卅名も出動する、斯くて九日午前十時陸軍士官學校內の防禦司令部の情報板に「敵機見ゆ、帝都危機に瀕す」と管掌地點よりの第一報が入ると

＝共に＝　林防衛司令官は演習地域全般に對し「防護に努めよ」との指令を發し茲に全く關東一府四縣は實戰さながらの非常警戒に移り、夜の帳が降りると共にラヂオ、サイレン、電燈點滅、警鐘亂打による空襲警報が傳り、燈火管制に入つて帝都は暗黑の地域と化し歐洲大戰時代のロンドン、パリーをしのばせる光景を展開すると、これと共に常盤線、總武線等の列車も電燈を消し、全く暗黑列車が走り、煙幕爆擊の科學戰が各所に展開される筈で三日間の息詰る科學戰は

＝我國＝　防空史上の一大偉觀として各方面から大なる期待を持たれてゐる

反滿反日を策謀
キリスト教徒の假面に隱れ
犯人七月廿日逮捕

（奉天五日發國通）上海に本部を有する米人經營時兆館發行のキリスト教機關雜誌時兆月報を

＝携帶＝　し新京各重要機關を歷訪し六月中旬以來豫約販賣をなす行動不審の奉天三育中學出身女主任楊澤氏（二十一）と中學生李大光（二十）李志傑（二十）の三名は七月廿日國務院に現れたが動靜容疑の點あり憲兵取調中であつたがこの程彼等の惡辣なる陰謀が暴露するに至つた、即ち右三名は前記雜誌を推運動に三十八部、軍政部、國務院、總務廳、立法院その他に三百部の豫約をなしたが、右雜誌は民國二十一年一月、二月兩號に反滿反日の記事を掲載し行政處分に遇ひ同年一月より四月に亘り新京憲兵隊に於て差押處分になつたものでキリスト教の假面を被り巧に滿洲國に魔手を延さんとする國際的陰

滿洲共產黨事件公判
廿八日第一回開廷

（大連六日發國通）滿洲共產黨事件として全滿に大衝動を與へた松田豐外男女二十名（一名死亡）にかかる治安維持法違反被告事件は廣瀨進外四名を分離し長島裁判長係り井關檢察官立會ひのもとに愈々來たる二十八日地方法院一號大法廷に於て公判開廷されることとなつたが被告中には思想轉向を上申せるもの、主義邁進を頑強に主張するもの等あつてその公判は各方面に注目されて居る

馬車衝突

七日午前六時三十分ごろ市內八島通二十七番地で城內五馬路客馬車夫崔東亮（四二）の馬車と西三道街荷馬車夫李江子（二〇）の馬車が衝突し崔東亮は馭車台から轉倒すると同時に馬車の引手棒に突かれ肋骨三本を折り直に濱田病院に收容應急手當を受けたが全治まで四週間を要すと

全新京軍に
金市長優勝杯
昨日の日滿庭球戰

既報、日滿庭球戰は六日午前十時より絕好の庭球日和に惠まれて蝟集するファンも多く金壁東特別市長代理薰特別市行政處長の開會の辭あり、試合の火蓋はきつて落されたが結果、第二回戰に於て全滿洲國軍四組を殘したるも惜敗し金市長優勝杯は全新京軍の手に歸した閉戰正に午後三時、最後に兩軍の萬歲を三唱し散會した

▲戰跡は次の通りである

（第一回戰省略）

第二回戰

全新京軍　　全滿洲國軍

○（緒方・林）四―〇（計永祥・杜瑞）×
○（加藤・山田）四―一（王仙・李品之）×
○（唐津・竹内）四―〇（李虎剛・苗廷）×
○（岡本・山本）四―三（[illegible]）
不戰組（全新京軍側）
一（川越・尾形）　二（韓・辛島）　三（眞鍋・大保）
四（古庄・福本）　五（川田・奧尾）　六（落台・林）
七（古庄・一松）
（以上七組不戰）

早大に凱歌
對滿洲國二回戰

8A―7

滿軍、新京軍と二回の對戰に全市野球ファンの期待を裏切つて連敗、六日名殘の三回目試合、滿軍との第二回戰、早大野球部新人の第二軍と言へ、早大の名を負ふ學生チームとして其淺ると闘志と覇氣を見せねばならぬ日、西公園球場は日曜日とて觀衆は例になくスタンドに溢れた、午後三時半小野、田中審判の下に滿軍先攻にて試合開始、二回早軍敵失と安打にて三點を先取好調を見せたが、忽ち挽回され、五對三、七對五と滿軍早大を壓して八回に入り、息詰るやうな緊張裡に早軍滿軍の堅陣に肉迫して七對六と迫擊、九回裏最後の攻擊に入つて嵐のやうな熱狂を浴びて早軍二點を奪取八對七にて辛じて最後の勝を占めた

△兩軍のバツテリー並びにスコアー

滿軍　香西、柳原、森川
早大　島津、田中、若原、佐藤

滿軍	0	0	3	2	0	0	2	0	0	7
早大	3	0	0	0	0	2	1	2	0	8

尙早大軍は六日午後十時新京發、奉天に向ひ同地で奉天軍と相見ゆる筈である

都市野球戰
雨天で延期

（東京六日發國通）六日の都市對抗野球試合は雨の爲七日に延期された

獨逸庭球選手權試合
我三選手第一戰を獲得

（ハンブルグ五日發國通）ハンブルグに於ける獨逸庭球選手權試合は五日開始されたが我がデ杯選手佐藤、布井、伊藤の三氏は轡を並べて、いづれも第二回戰へと進んだ

△スコアー左の如し

佐藤　四―六、六―〇、七―五、六―一　シューベンケル
布井　六―一、六―二、六―三　クレル
伊藤　〇―六、〇―六、六―二、六―〇、六―三　チューベン

基督敎大講演會

時　今夕（月）午後八時より
處　中央通九、日本基督敎會堂
演題「神の經綸」　山本忠興博士
早稻田大學教授學徒研究團副團長

基督者としての同博士が、此の滿蒙の諸問題を研究し且つ此の天地を實施踏查した後、神の意志、神の御經綸が何處にありやを確實に看破、把握し、之を力強く熱辯をもつて獅子吼せんとする由御來聽を歡迎致します

足はしびれ
花柳の噂

とても親切なそのお方、ちやアお言葉にあまへてお邪魔さして頂きますと、あがりこんだものです、座蒲團に團扇、すゝめられるまゝに遠慮しながら敷いたり使つたり面倒臭いけれど化の皮の剝けねやうにお芝居をつゞけてゐましたです

×

その方は煙草をめしあがりながらいろいろ話をなさる、その匂ひを嗅いだものですから自分も吸ひたくなつて知らず知らず手は袂へ、ですけれど遺憾ながら洋服で袂がありませんものねホホ……だがあの朝日の袋はどこへやつたかしら髮結さんとこへ脫いで來た着物の袂かしら

×

今時の娘さんはいくらも煙草をふかすのがあるんだから、一本頂戴なと云つたつておかしかないでせうけれど、先樣はあたしがノドを鳴らして吸ひたがつてることなんか夢にも氣がつかず、お茶よ菓子よともてなして下さる矢先へ、それ以上に一本頂戴なは氣恥かしくて云へませんでした

×

ところで、そのお方は膝もくづさずきちんと四角にすわつてらしていろんな話をなさるんで、どうぞお樂にとすゝめられてもぢやアごめんなさいと橫に足をなげ出すわけにもゆかず、そのうちにだんだん足はしびれて來る、話の種は盡きさうになるで苦しくなつて來ました（つゞく）

けふの銀相場

鈔票對金票　一〇五・三五
現大洋對金票　一〇〇・四〇
國幣對金票　一〇〇・一〇
大洋對鈔票　[illegible]

後南異聞

艶魔地獄

（講談上演映畫化）

玉水三郎

（畫）長谷川小信

銀藏破り（一）

怪賊が暗中飛躍し出した。

それは例年の事で、慶安三年の師走も、押迫つた數へ日には、江戸市中到る所『モサ』や『フケ』や『空巣』や『掻つ拂』の横行に猫の手も借りたい忙しさと、慌だしさの中に、市民の受ける驚威は容易ではなかつた。

時の江戸町奉行は、青山主膳一番町に住んで千五百石、徳川譜本中でも三州譜代で、大名の勢力に拮抗する權威者であつた。

其命の下に與力同心は、犯人を擒へんと目明し手先を各方面に飛躍させてゐる。

町奉行手附き同心大瀧猶十郎が拂曉から日本橋へ私用で行つた歸途、小網町の河岸へ來蒐ると、

『モシ大瀧の旦那ぢやありやせんか』

石垣傍にかゞんでゐた頬冠りに三尺帶の男が呼びかけた。

『オヽ、太吉か、早いの』

『お早うございますね旦那も……やつぱり昨夜のお調べですか。少しは手懸りがありましたかい』

『コレ〳〵何を申す。昨夜の調べとは……身共は私用で參つたのだ』

『ヘエー、ちやまだ御存知ないんですか、あの加賀樣の一件を……』

『ナニ加賀樣、そりや何事だ。少しも知らんぞ』

『御存知ないとは不思議だ。本郷の加賀樣に昨夜、御金藏破りがありやした』

猶十郎は驚異の目を見張つた。

此太吉といふ手先、上燗燕の太吉で通る。それは小柄な五尺に足らぬ小男で、動作の敏捷な所からの綽名である。

『あの嚴重な赤門の中、何れから忍び入つたか、大膽な賊もあつたもの。して手懸りはあつたか、盗まれた金高は……』

猶十郎は慌たゞしく尋ねた。

太吉は低聲に手つ取早く語る。

『幸ひ御金藏を破つたゞけで、夜廻りが見付けて大騒ぎとなり、金には手を付けてゐませんが、賊ッ玉の太い奴で、悠々不淨門を破つて逃げやした。丸ッ切り何者か足がつきやせん』

『フーム それだけか、其方存じて居る所は』

『ヘイ、今八丁堀で金森の旦那から聞いたんで、唯、一つ手懸りは印籠なんです。不淨門に落ちてゐたんだが、何分百萬石のお邸だから、盗人が落して行つたのか、屋敷内の人のかゞ判らねえんで、今其詮議中だと聞きやした』

二人はもう鯨寄せの中に入つて積んだ材木に腰をかけてゐた。

太吉は以煙草入を取出し、火打石をカチ〳〵一服やり出した。

『太吉、今初めて其方に申すがの大名屋敷の金藏破りは、コレで當年三度目だぞ』

『ヘエーッ、ちつとも知らなかつた……何處と何處です。外の二所は』

『麻布の阿部侯と、芝の田村邸で何方からも千兩宛持出してゐる』

『ヘエー知らなかつたね』

『何分諸侯方の災難とて、御老中若年寄への聞えも懼く、實は内分にしてゐたのだが、此春、芝の新網町と、麻布の十番を氣遣しに、宿屋から料理屋、博徒の部屋まで検ため廻つた事があつたらうの』

『ヘエ〳〵ありやした。わしアあの時何の爲のお検ためかと思つて不思議でなりやせんでした』

『此年末に小盗人の多い爲め、町家への目を配つてゐる隙を窺ひ大名屋敷へ立廻つたものらしい』

『太てえ野郎で……』

其處へ餅搗師走を餘所に、泥酔した男がヒョロ〳〵と、鯨寄せの中へ入つて來た。

八月八日 舊六月十七日 火曜 丙午 佛滅 室宿

●一白の人 奮起して幸運を脱す可らず不時の變に警戒 乙が巳さ丙が吉

●二黒の人 齟齬を起し易き日人の言を過信せざるが吉 壬さ癸さ丑が吉

●三碧の人 迷雲眼前に横りて行く手の定まらざる如し 乙さ庚さ壬が吉

●四緑の人 萬事落付が肝心又目上の感情に觸れん注意 乙さ壬さ癸が吉

●五黄の人 物事志さ反して回復容易ならざるに至らん 壬さ子さ癸が吉

●六白の人 現状を維持して安全を期すべき日病難注意 丁さ癸さ丑か吉

●七赤の人 大事も小事より崩るゝ事あり油斷す可らず 乙さ丙さ癸が吉

●八白の人 安諸合は大疵甚ひさなる情實に馳すゝな 甲さ丁さ壬が吉

●九紫の人 調子能く物事の展開を見る日病難失物注意 未さ庚さ戌が吉

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可 昭和八年八月八日 新京日日新聞 （火曜日） 第三千八百九號

新京日日新聞

國民信頼の恢復が我が國政黨の急務
無任所大臣必要に關する 高橋藏相の辯

（葉山七日發國通）高橋藏相は三土鐵相と五日無任所大臣問題につき重要な會見を遂げたが六日夕刻葉山の別莊で左の如く語つた

鈴木總裁の考へは新聞で見る以外何も聞いてゐないが自分の氣持には變りない、元來政黨政治といふものは最善の政治を行へないにしても最惡の政治ではない、今日我が國の政黨にとつて一番の弱點は國民の信頼を失ひつゝあることだ、其點を政黨自ら反省して誠心誠意國民の信頼を恢復するやうに努めるのが何よりの急務である、このまゝで捨てておけば政黨政治に立脚しない政府が出來上るやうなことになるかも知れぬ、一人二人の豪傑が出て強力な獨裁政治を行ふ時は國民は頭を抑へつけられて言ひたいことも言へなくなる、こんな事では封建時代に歸つてしまふ、國民が自由の意志をもつて政治に關與し得る點に於て矢張り政黨政治でなければならない、私が無任所大臣を主張するのもかゝる意味からで漠然と目標もなく擧國一致內閣を說いても仕方がない徒らに擧國一致を唱へるよりこれを具體的に實現せしめることが大切な事ではあるまいか

無任所大臣問題を
首相豫算編成期前に解決希望

（東京七日發電通）齋藤首相は鈴木、若槻兩總裁の無任所大臣としての『入閣』を豫算編成前に實現せんことを希望し既に鳩山、三土兩相を介して政友會內の氣分好轉に努めさせて居り、一方後藤農相も實現の情勢を作るに努力して居り、之等の運動で氣運が出來たら鈴木若槻兩總裁に交渉する段取であるが政友會の一部と樞府の意向として無任所問題の官制上に疑義があり實現困難を傳へられて居るが政府では此點につき研究の結果、從來樞府の無任所大臣反對理由は政黨員の獵官運動を滿足させる爲め椅子の振割の目的で、今次の如く時局に鑑み擧國內閣を更に擴充せんが爲に兩黨首を迎へんとする政府の『誠意』を披瀝すれば樞府の同意は至難でないと信じてゐる

重要地方に貿易事務所開設
商工省積極政策に轉換

（東京七日發國通）商工省では經濟ブロック對立に備へる爲自由主義の『從來』の政策を轉換せしめ統制的貿易政策を執る必要上取敢へず通報網の擴充を圖ることゝなつたが最近世界の實情を觀るに消極的な協調主義は實際的な效果無く、從來獲得の市場を失ふことは有阿耳の他の英國殖民地の例に依つても明かなので市場擁護よりも積極的に經濟ブロックを突破して新市場を獲得する見地から明年を第一年度として繼續事業として新市場開拓に全面的な努力をすることに決定した、從來の通報員は相場の報告を爲す位のもので實際の役に立たなかつたので今後は重要地方に通報員を配し大規模の貿易事務所を置き貿易事務官を駐在せしめ市場開拓に必要な情報を『蒐集』せしめ積極的に取引の媒介を爲さしめる意向である

地籍調査中止さる

滿洲國行政及產業振興の基礎を爲す滿洲國全土の地籍調査は二年度豫算通過を待つて實行に着手する筈であつたが豫算不成立に終つた爲め一時中止の形となり又これと關聯して重要意義を有する政區劃調査も諸種の狀況よりして積極的に進行することは不能の狀態に立到つたが、斯くの如き滿洲國行政、產業各方面の事業進展に重大關係を有するこれ等重要調査が主として經費の關係のみから着手不能となつたことは各關係方面から甚だ遺憾とされてゐる

元關東軍經理部長 佐野中將離滿

（大連七日發國通）昭和五年四月以來關東軍經理部長として殊に事變中關東軍の經理事務に異彩を放らしめた佐野會輔中將は今回陸軍定期異動で勇退し七日出帆のハルピン丸で離滿した

ロシア石油第一船橫濱着
七日朝より送油開始

（東京七日發國通）松方幸次郎氏の交渉によるロシア石油の第一船ノーレ號は六日午前六時橫濱着成田水上署長以下の物々しい臨檢を受けたが七日朝からコーカサス產ベンジン油一萬九百六十噸を第一區に繫留の船から西尾石油タンクまでの間千六百米、八インチの鐵管により送油中である

北滿の要地
三河地方の現狀（四）

六、民心概要

一九二九年の大虐殺事件當時に受けた精神的痛手は癒へず一般に恐怖觀念と猜疑心に支配され、日本人側に情報を提供しても已れの名を秘すことを唯一の條件として居ること及彼等の最大の希望が日本軍の駐屯にある點等より見るも如何に蘇聯當局と其走狗となれる官吏の迫害の大なるかが窺はれる

最近殊に頻繁となれる蘇聯の白系優秀分子の拉致及官憲の飽くなき搾取と迫害に、△民は全く信頼の念を失ひ且進んで產業の開發に努力せんとする希望を持ち得ず、而も此窮狀を訴ふるに術なく呆然自失の態に在るのである、爲に一部血氣の若者の如きは蘇聯の不斷の壓迫と貪慾官吏の態度に憤慨の餘り銃を取つて山に入り單獨的に反蘇積極行動に出でんとする者すらある

由來三河地方に居住する白系露人の殆ど全部は何れも肉身の殺戮、財產の沒收其他凡ゆる蘇聯の迫害の体驗者にして然も革命以來最後迄赤軍に武力抵抗せる後貝加爾哥薩克及農民にして蘇聯政權を文字通り不倶戴天の仇敵と視て居るのである

加之彼等は亡命以來今日尙蘇聯の迫害に惱まされて居る在滿唯一の白系露人の集團であり、赤蘇に對する憎惡は特に甚しいものがあり、從つて彼等の反蘇的思想の堅固なる事は滿洲の其他の地方殊に都市に居住する一部白系露人のそれの如き政策的職業的白系運動者の比ではない、彼等三河在住の哥薩克に取つては赤蘇は宿敵であるのみならず又始終新しい怨を植付ける當面の敵である、反之日滿兩國に對しては絕對の好意信頼を抱き居り、而も滿洲國成立と共に同地方に數十名の露人巡查の採用等の事實が益々彼等を親日滿たらしめつゝある

七、經濟中心地の移動

三河地方の經濟中心は從來行政の中心地たるシチユーチエ村に在つたが、露支事件當時後然として止まないゲ・ペー・ウ騎馬隊員及赤色パルチザンの奇襲は蘇聯の走狗と化せる舊支那官憲（未だに更迭されて居ない）の迫害及蘇聯秘密工作員の潛行的活躍と相俟つて比較的國境に近いシチユーチエ及其一帶の部落民の經濟的發展を阻害したるのみならず、又不斷に生命の安全を脅かされて居る爲比較的富裕な農民は漸次東方の部落に移動し今日では經濟の中心は完全に三河の東端たるウエルフクリー村に移つて居る、又各部落の經濟狀態もウエルフクリーを中心としてドロゴツエンカ村以東に於て良好なるものがある（完）

對シムラ外務案は
譲歩的協定案
農商兩省の强硬反對で練直し

（東京六日發國通）シムラ會商の對策を決定すべく五日午後商工、遞信、拓務等の六省聯合協議會をする豫定だつたが外務省の原案不備なる爲、延期となつたことが判明した、即ち外務省では日本側より提案すべき諸問題につき外務原案を作製し二日の聯合協議會に提案したところ重要部分に就き農林、商工兩省より强硬反對を受け原案練り直しの已むなきに至つた、仄聞するに外務原案は讓步的互惠協定案で即ち

一、印度ラングーン米輸入禁止の緩和
一、印度銑鐵に對する禁止的關稅低下
一、印棉の每年一定數量輸入保證

等の讓步により綿布關稅の引下げを代償的に哀願せんとするものだつた、之に對し農林當局、商工當局が所管事項に就き强硬反對し印棉輸入保證に就いても米棉、印棉の價格の高低如何により輸入せんとする從來の制度を破壞するものとの反對出で外務原案の修正を要求したもので、外務當局が無條件最惠國待遇の復活を要求するとの强硬態度を表明し乍ら今日に至り必要以上の讓步をしやうとする軟弱な態度を關係當局や民間業者は批難して居る

高橋總務司長大連着

（大連七日發國通）上京中の高橋實業部總務司長は七日入港の香港丸で歸任したが語る 商標法に關する法令案打合せの外今後商工農林兩省から實業部に招聘する者の人選等で上京して來た、實業部の諸官制も此の下旬までには出來上るので商標法の發布も同時にならう、自分は四時半の汽車で新京に歸る

紀俊秀男來滿

（大連七日發國通）貴族院議員前日本映畫教育研究會長紀俊秀男は七日香港丸で來滿した

米支直通無線權を
米國が獲得す
米國の對支進出益す活潑

（東京七日發國通）米國の對支經濟的進出は最近頗る活潑なるものがある、米國官邊ではこれを否定して居るが、更に米國の通信勢力の擴充は着々其の步を進め本年四月米國馬凱無線電信公司は國民政府交通部との間に通信に關する修正條約の調印を爲し、米支直通無線通信權を獲得したとの報道が傳へられるに至つた

滿鐵人事異動

（大連七日發國通）滿鐵では上海事務所長の後任補充に伴ふ人事を本日左の如く發表した

北平事務所長參事 石井成一
命上海事務所長
撫順炭礦庶務課參事 高久肇
命北平事務所長
紐育事務所長參事 郷敏
命上海事務所勤務
總務部文書科英文主任 長倉親義
命紐育事務所長代理

ナチスの反墺行動により
獨墺關係極度に惡化
英佛兩大使獨政府に嚴重抗議

（ベルリン五日發國通）ドイツナチスの反墺宣傳に依る獨墺關係は極度に惡化しきたが四日ベルリンにある英佛兩國大使はドイツ政府に對し、ナチスの反墺的行動に關しベルサイユ條約に準據して嚴重抗議を提出した

向ほ右に對しドイツでは干涉がましき英佛の態度は何事ぞと極度に憤慨してゐる

各稅關首腦部今週中に任命

新稅關官制の公布に伴ひ財政部に於ては全滿各稅關首腦部以下關員の正式任命をなすべく準備を急いで居たが漸く調査を完了したので今週中には首腦部より漸次任命發表する筈である

七月中
大連港輸出特產各品共激減

（大連發國通）滿洲重要物產組合に依る七月中の大連輸出主要特產物概數は別表の如くで大豆十二萬二千四百七十三キロトン、豆粕二萬八百八十キロトン、豆油二千九百七十三キロトン、高粱二千九百卅二キロトンにして之を前年同期に比較すると大豆二萬三千七百廿二キロトンの減少、豆粕四萬五千七百九十四キロトンの激減、豆油三千百五十七キロトン減、高粱一千六百四キロトン減と一齊に減少を示してゐるが、之が主要原因は禁止的高率關稅の爲支那向輸出が一齊に杜絕した爲である、然し歐洲向豆油が二千キロトンの增加を示してゐるのは製品高の關係に依る

ホロンバイル市場研究會の
めざましい活躍

（ハイラル六日發國通）本年四月在ハイラル各機關の有志を糾合して組織された「ホロンバイル市場研究會」では週報の發行、宴會の開催等の諸事業を行ひ其成績見るべきものが多いが、此程內部の充實に伴ひ會內に各專門的部門を設け各自研究を行ひ其成果を週報パンフレットを通じて發表し又一方會內に蒙古語、露語、支那語の講習會を開催する等大にホロンバイル文化の爲めに積極的な活動を爲すことゝなつた、尙パンフレット第一輯は橋本ハイラル特務機關長並に蒙古指導員伊藤氏の講演が發表されることになつてゐる

秋立つ（新發屯にて）

ルツボは沸る
改正關稅は果して滿足なりや
當業者の意見を聽く（十）

葉煙草

同品は今回の關稅改正中輸出輸入を通じ、稅率を引上げられた『唯一』のものである、この改正は勿論煙草が贅澤品と見なした事によるもので、日本は謂ふまでもなく世界各國の葉煙草に對する輸入稅と比較し今次の改正は當然過ぎる程當然で何等不滿をいふべき性質のものでなく、各當業者は「安いに越した事はないが、まあ仕方があるまい」とあきらめてゐる、而してこの改正によると（イ）一擔價二百圓を超ゆるもの一擔につき二十七圓三十錢のものが約十一割四分高の五十八圓五十錢、この種類に屬するのはヴアージニア葉で、煙草にするとチエンメル以上のものである、次に一擔七十圓を『超へ』二百圓を超へざるものは十三圓四十六錢であつたのが約十一割六分高の二十九圓二十五錢となつた、これに屬するのは內地人間の大衆向のスピアー、ゴールド級のものである、最後の一擔七十圓以下のものは五圓六十六錢であつたものが十二割五分高の十二圓七十五錢、これは滿洲人間に廣く吸はれてゐる下級品である、而して現在滿洲に於て栽培されてゐる葉煙草は凡凡城子萬貫吉林省內に約六百萬貫であるが、前者はスピアー、ゴールド級の中流品にして後者は卷煙草としては全然用ひられず一般に煙管用に消費されてゐるもので今回の改正には關係が薄い、從而斯るの生產高に『少量』に過ぎないから改正による影響は先づないと見てよからう、又この關稅障壁の設定により國內に葉煙草栽培壯盛時代を誘致する事も難しい、葉煙草は米國及び山東省より輸入せられ年額約二百萬貫前後であるが輸入稅引上げによる需要減少は一般からないと見られ、滿洲葉煙草の實輸入稅中の最たるものと期待され、對立關係にある在滿の英米トラスト、東亞煙草はこの關稅改正を繞り煙草に對し幾何の『値上』をするか、各方面より興味の眼を以て見られてゐる

昭和八年七月中大連港輸出特產概數（單位キロトン）

品目	仕向地	數量
△大豆	日本	一〇、七四五
	歐洲	一〇六、九五五
	南洋	四、三五九
	中國	[illegible]
	合計	[illegible]
△豆粕	日本	[illegible]
	歐洲	[illegible]
	米國	[illegible]
	朝鮮	[illegible]
	合計	[illegible]
△豆油	日本	[illegible]
	歐洲	[illegible]
	米國	[illegible]
	中國	[illegible]
	朝鮮	[illegible]
	合計	[illegible]
△高粱	日本	[illegible]
	中國	[illegible]
	朝鮮	[illegible]
	合計	[illegible]

八年六月中 （△大豆 △豆粕 △豆油 △高粱：日本、歐洲、米國、南洋、中國、朝鮮、合計） [illegible]

七年七月中 （△大豆 △豆粕 △豆油 △高粱：日本、歐洲、米國、南洋、中國、朝鮮、合計） [illegible]

自昭和七年十月至八年七月 大連港輸出特產物累計概數 （△大豆 △豆粕 △豆油 △高粱：日本、歐洲、米國、南洋、中國、朝鮮、合計） [illegible]

六年度十月以降七年七月迄累計 （△大豆（昨年同期） △豆粕 △豆油 △高粱：日本、歐洲、米國、南洋、中國、朝鮮、合計） [illegible]

天氣と氣溫

七日の氣溫最高三十度最低十七度二、八日の天氣北西の風

墜落した◎◎機
機体は遂ひに全焼
西野特務曹長經過幾分良好
原因はなほ取調中

號外所報＝西野特務曹長操縱　市川機關士搭乘の○○機○○號の墜落とゝもに飛行○○大隊から多數急行し搭乘者の應急手當をするとゝもに全燒した機体の跡始末をなし、且つ飛行隊本部新京憲兵隊、附屬地憲兵隊から急行し墜洛原因に就き調査を行つてゐるが同機は午後二時二十分頃空中演習のため離陸し飛行場西方から東方に旋廻中突然機關に故障を生じガソリンに引火し黑煙を吐きつつ墜落したものである、なほ重傷の西野特務曹長は經過良好である

朴慶元孃は
昨日羽田出發
渡滿飛行の壯途に

【東京七日發電通】かねて郷里朝鮮及び滿洲訪問飛行敢行のため過般渡滿新京に於て軍司令部と萬端の打合せを完了歸京した日本に於ける唯一の朝鮮女流飛行家朴慶元孃は愈々サムソン式一Ａ二型愛用機を單身操縱し七日午前十時三十二分東京を出發した尙同機は大阪、太刀洗、蔚山京城、平壤、新義州、奉天を經て十二日午前十一時十五分新京に到着の筈である

赤痢に代る
腸チブス患者
當局でも對策に腐心

炎暑も一時より軟ぎ凌ぎよくなつたせいか蔓延を極めた新京の赤痢患者はずつと減つて小康の態である、七日現在の

＝傳染＝　病患者は赤痢三七、腸チブス二九、パラチブス五猩紅熱三、ヂフテリア一、計七五名以上內譯は城內で赤痢三、腸チブス五發疹チフス一、計九名を合して總計八十四名が各病院に收容されてゐる

赤痢患者の最盛期に較べて半減した形であるが、赤痢に代るチブスが漸次蔓延の兆があり、地方事務所衞生係では早くもこれが對策に頭を惱ましてゐる、さきにチブス豫防錠五千人分を

＝一般＝　に配給した當局ではこの際より効果的の豫防注射も實施すべき說鬪の下に目下準備中であり、近く接客業者を先きに一般にも實施される

十九發の
弔砲も悲しく
故武藤元帥の葬儀
靈柩音羽護國寺へ運ばれ
永しへにねむる

【東京七日發電通】滿洲の守神と化した武藤元帥の葬儀は

＝前日＝　の雨霽れて爽やかな七日午後零時半林銑十郞大將葬儀委員長となり、陸軍省、參謀本部、教育總監部、外務省拓務省合同で日滿兩國民擧つての哀悼の裡に擧行された、午前十一時十五分靈柩車を先頭に十數臺の自動車を連ね落合の自邸を出發、弔旗翻る沿道には在鄕軍人團、靑年團がぎつしりと堵列して行列を送り滔行く人も帽子を脫いで我等が英靈を心から見送り十一時四十五分朝野各方面から贈られた數百基の花環に埋まつて日比谷齋場に到着、日比谷公園齋音樂堂に安置された、首相以下各閣僚陸海軍將星滲執政代表各國使臣參列午後零時三十分愈々式が開始された、此の時參謀本部前庭に待機中の坂本大尉指揮の近衞野砲兵中隊一個中隊四門の大砲より十九發の弔砲が殷々と齋場の空に響き亘り、元帥の死を悼む會葬者の胸を抉つた、同四十五分畏くも　聖上陛下御差遣の勅使小出侍從拜禮、次いで皇后皇太后兩陛下御差遣の御使が順次拜禮それより閑院梨本兩元帥宮の御直拜の後荒木陸相、齋藤首相、內田、永井兩相順次弔辭朗讀終つて一時四十分より未亡人始め

＝家族＝　の最後の禮拜を行ひ午後二時より一般告別式に移りお終つて靈柩は音羽護國寺に運ばれ、埋葬式を行つた

大連各署員
遙拜

【大連七日發電通】故武藤元帥葬儀執行の七日大連警察署では午後一時より全署員參集遙拜式が執行敬虔な默禱を捧げた
尙水上、砂河口、西崗子三署も同樣遙拜式を執行した

惡い朝鮮人

朝鮮平安南道鎭南浦碑石里金演哲(二七)は去月初旬ごろ同鄕人である新京三笠町三丁目六番地料亭林承王方を訪れ今回新京で病院を開業する目的で來京し目下家屋を物色中であるから當分滯在させて呉れと交渉し同亭に滯在中抱へ酌婦金今順(二二)と情交關係を結び遂に落籍すべく話が進んだ金全策に付くからと稱し林氏から十二圓を借り受け於いて林氏が不在中帳場にあつた金庫內から五十圓及び腕卷時計時價三十圓を窃取し逃走中の處六日孟家屯朝鮮人旅館に潜伏してゐるを新京署員に逮捕された

水飢饉も過ぎ
はや立秋の訪づれ
もう夜の寢られぬやうな
暑さはあるまい

愈よ今日から立秋！百度近いウダる樣な暑さに辟易した新京人待望の立秋―秋は

＝街角＝　に、綠林に、部會人士の胸にそつとさゝやきかけてゐるのだ、永い凍結期からほがくする陽春になつたと思つたのも束の間、また滿洲特有の酷暑に喘ぐ日が續いた、殊に本年は一層嚴しい、この立秋を水飢饉に突きのめされた新京人はどんなに待ち焦れた事か、だが立秋くらひ當にならぬものはない特に滿洲の立秋はそうだ、まだ〳〵百度近い

＝炎熱＝　に苦しめられるかも知れぬ、一つ測候所に伺ひをたてゝ見やう

當分は天氣が續くでせう、これからは蒸し暑くて寢られない樣な夜は少く、ずつと樂になるが、立秋だからといつて目立つて變るものではない、まあ漸次秋らしくなるのでせう、現在高氣壓は日本の東方海面に七百六十四ミリ、及北支に七百五十八ミリ、低氣壓は各所にあるが優勢のものは間宮海峽に七百五十ミリ、小笠原島、紀伊半島、釜山東方に各七百五十二ミリ、西朝鮮、上海附近鴨綠江上流に各七百五十四ミリである、滿洲は全部天氣、遼東半島及內地が曇り、樺太が雨である、風は至つて弱いと語つてゐる

熱河の
移駐警官は
關東廳管下から
三百五十名

【大連七日發電通】滿洲の新情勢に備へるため一部警察力を熱河方面に移駐すべきことが發表されて以來警察署より派遣を希望する警察官續出してゐるが、銓衡の結果、此程內命が發せられた、大連市內の各警察署より派遣さるべき數は警部一、警部補三、巡査部長三、巡査二十三、巡補七合計三十七名にして今明日中に正式命令あり、本月下旬赴任の豫定である、尙今回關東廳の第一次派遣警官は合計約三百五十名である

警察機飛來

關東廳警察機銀鷹號は七日新京に森本警務課長を載せて飛來した

十五日の滿洲デー
軍樂隊も出演
人氣湧く大連滿博

十五日擧行される「滿洲國デー」に滿洲國軍樂隊の出演方に付てかねて折衝中であつたが滿洲國軍側も双手をあげて贊成、愈よ出場に決定した、これによつて「滿洲國デー」に一層の光彩を副へるものと見られてゐる

滿洲國斡旋で
滿博見學團
申込殺到

滿洲國人に滿博を見學させる目的で滿洲國側各機關が觀光團組織を勸說奬勵中であるがこの計畫が發表されるや各方面より團体申込が殺到しつゝある、これ等團体トップを切るものは吉林省の官吏團体二十名で八月九日吉林を出發の筈である、なほ第二班は二十二日出發することゝなつてゐる、今日まで參加方を通知して來た團体はハルビン五十名奉天六百名であるが、其他興安總署等の手を經て續々滿博見學團が送られる筈

天幕の村
新京少年團の野營

椰子の蔭にも似て涼しいこゝ西公園潭月池の畔に五つ六つ天幕の家が並んでゐる。いま樂しい夕餉もすみ篝火を圍んで一家團欒といふところだ、團長格の山下副長の音頭でキャンプの歌が聲高らかに合唱されるのである
「朝日は昇る……愉快だ〳〵」
總員二十四名、いづれもはちきれそうな元氣で原始的な生活を樂んでゐる

永田秀次郎氏
七日午後軍司令部訪問

滿洲產業建設學徒研究團長永田秀次郎氏は入滿の途次京城にて四日臨を低ひゆつくり靜養の暇もなく昨六日夜豐田秘書帶同入京したが昨七日午前中宿舍滿州屋旅館にぐつすり休養、午後一時頃歸床、副團長山本博士と共に記者を迎へて語る

別に心配はないが下痢をかけられたので元氣がない、奉天ですつかり元氣になつたと思つたが此處へ着いて見たらまた一すつかれが出てね、昨夜着いて今まで寢て居たんだからまだ話すことは何もない、十五日まで居るからその內ゆつくり話さう

尙永田氏は午後一時過ぎ軍司令を訪ふするが昨日は軍司令部だけに止め團長より研究團の入京を待ち各々の府を見まはる模樣で愈々本日午前全團を率ゐて軍司令部並に執政府へ赴くことゝなつた

刑務所破りは
遂ひに迷宮入りか

去る二日午前七時ごろ新京總領事館刑務所の便所窓を破り手錠の儘獄衣を着し逃走した前科五犯松岡政和(二四)の行方に就き總領事館、新京兩署で不眠不休の活動を續けるとゝもに全滿各署に指名手配をなしてゐるが一週間を經過するもなんらの手掛がなく、迷宮入りを傳へられてゐる

新聞記者協會
一行の滯京日程

日本新聞記者協會一行百廿名は來る九日午前六時臨時列車で入京するが滯京二日の日程左の如し

△九日
一、午前六時入京直ちに旭ホテル、梅屋、扶桑、吉田屋(新)長春、常盤、大九(新)西村の各旅館に分宿
一、午後二時より新京高等女學校に於て第廿一回大會を擧行
一、午後七時より同協會主催晚餐會(ヤマトホテルにて)

△十日
一、午前中執政並びに關東軍訪問
一、正午日滿側各機關聯合主催の午餐會に出席、會場は西廣場小學校講堂
一、午後南嶺戰跡及び國都建設局樓上に於て國都新京建設市街狀況視察
一、午後七時より滿洲國側主催晚餐會(會場は宴會樓)

△十一日
一、午前八時四十分新京發、ハルビンへ

大會出席者

新京に開催される日本新聞協會大會列席の會員左の如し
日本新聞協會大會出席者名簿

社名	氏名
防長新聞	弘中
同	弘
豐州新報	長野
東京朝日	野田
東京日日	佐藤
東京毎日	三宅
德島毎日	多田
東奧日報	武田
同	工藤
東亞日報	宋
同	李
豐國通信	谷口
中國民報	大島
朝鮮新聞	小坂
朝鮮日報	金
朝鮮商工日日	齋藤
朝鮮毎日	後藤
朝鮮經濟	小野
大阪電通	小田
同	春日
大阪中外	佐藤
鴨江日報	小川
鳴門日日	末光
同	加藤
鹿兒島朝日	靑木
同	綾坂
鹿兒島新聞	齋藤
同	渡邊
樺太日日	加藤
同	高久
樺太時事	古川
海南新聞	香川
同	玉井
高田新聞	片田
臺灣日日	大澤
同	永井
同	入貝
臺南新報	宮本
大連新聞	寶佐
同	前川
大正日日	米田
報知新聞	赤澤
名古屋新聞	大宮
南信日日	三澤
同	名取
同	宮澤
南信新聞	林
室蘭毎日	宮
山梨日日	名
滿洲日報	三
同	大
同	赤
伊勢新聞	松本
博生堂	佐藤
日本電報	光永
同	安藤
同	小野田
同	吉田
同	中山
新潟毎日	田畑
新潟新聞	石崎
日本新聞	吉川
同	坂口
同	山本
同	井口
北海タイムス	藤田
同	平手
北陸タイムス	中
同	有堀
傚繩社	土川
北鮮日報	金田
北鮮日日	岡子
同	三本上

社名	氏名
同	鈴木
同	野口
滿洲日報	松山
同	御野
京城日報	日笠
マンチユリア、デーリーニユース	高柳
同	時實
福岡日日	李
同	原田
福島民報	阿部
同	中目
福島民友	古和口
福島新聞	氏家
釜山日報	芥谷
同	山川
同	影野
神戸日日	岡山
江差新聞	北田
同	北林
同	岸林

社名	氏名
出羽新聞	皆川
旭川新聞	田中
同	前田
岐阜新聞	松下
同	西尾
九州新聞	永井
九州日日	高木
三重日日	神原
信濃日日	杉浦
同	中山
同	荻原
信濃時事	井出
下野新聞	清水
同	遠山
下野日日	還山
靜岡民報	川村
靜岡民友	横本
同	新江
新愛知	江河
同	大石
上毛新聞	小崎
同	江川
同	岡田
新京日日	小原
新滿田新聞	篠原
昭和日日	樋口
昭和日々	大澤
門司新聞	淸水
盛京時報	柳澤
日本新聞協會	十河
同	古川
同	梅川
同	染川
同	兒谷
同	百玉

△合計七十五社、百廿五名

盛夏三題
……何か適切な銷夏法は？
各方面に聽く　(11)

お尋ね
一、今年の夏はどうしてお暮し遊ばされますか
二、避暑地にはどこが一番よいでせうか
三、何か適切な銷夏法はないものでせうか

○ 新京高女校長　江部易開氏
一、不相變學校に出て仕事をします、一週間許り家族の御伴をして博覽會見物旁々大連に行きます
二、旅順が一番良いと思ひます、靜かで空氣が淸らかで山あり海あり、それに上品ですから
三、晝寢をしないで一日中働いて夕方風呂に入つて一杯傾けるのが一番よい銷夏法だと思ひます

○ 地方委員副議長　得丸助太郎氏
一、大半は運動の世話で暮します、一週間位大連方面へ旅行します
二、旅順がよいと思ひます、あの大和ホテル黃金台海岸支店あたりにでも居ますと海は近いし山登りも出來ますし、內地の樣に蟬の聲も聞へます、それに大連の海岸や夏家河子の樣に人形箱を引つくり返した樣な雜踏もなく本當に涼しい避暑氣分になります
三、好きな良犬でもつれて毎日散歩することです

○ 范家屯警察署長　高橋重利氏
一、新京警備の第一線に立ち治安維持を生命とする小生等の如きは所謂高粱繁茂期たる夏は一年中の書入れ時で避暑の旅行のなど夢にも思つたことはありません
二、從つて避暑地を研究する必要もなく何處がどんなんか皆張り知りません
三、仕事第一、餘念ない事が一番の銷夏法と思ひます、有閑階級なら綠陰で好きな讀書でもやる事が一等でせう

○ 新京憲兵隊本部特高課長　富田直澄氏
一、齊臘三角地帶に、新春山海關に、引續き熱河北支と飛んで歩いて來まして新京へ轉任して參りました許りで、手慣れない仕事に毎日冷汗を流しておりますので特別に避暑などはいらぬと思ふております

○ 司法部總務司長　阿比留乾二氏
一、新京で暮します
二、健康を害しない限り避暑なごをする必要はない、人生に暑い夏があり寒い冬があつてこそ始めて春や秋が樂しいのだと思ふ、夏は須らく暑熱を滿喫すべきであるやがて來るべき秋の紺碧の空をたのしむがためにかゝる信條から私は避暑地に就て嘗て考へたことがない
三、暑さと闘つて夏らしく暮すことが最も適切な銷夏法だと信じます

○ 新京公學校長　小林治郎氏
福山にて
一、已むなく家族の病氣を郷里福山市に看護しつゝ此の暑い日を過してゐます
二、山高水淸の內地は銷夏に好適なるも本年は殊の外暑く夜分は蚊に攻められ、滿洲の夕を偲びつゝやはり自宅が自由自在で一番好い避暑と思ひます
三、汗かきの私は(外出には簡單なる服裝)室內にては度々水浴をなし讀書に耽つてゐます

吉凶禍福

△新京入船町四丁目二、湯本嘉造氏長男嘉一郎さん、二十四日出生
△新京中央通四〇大谷理三郎氏長男純一さん、四日午後十時十分死去
△新京錦町二丁目八號神千勝太郎氏長女光江さん、五日午前九時二十分死去
△新京羽衣町一丁目三號笠原巧淨氏孫宏さん、五日午前一時死去
△東京市荒川區南千住町七丁目四〇酒井秀雄氏五日午前六時新京醫院で死去

不再錄號外發行

七日夕刊と同時に飛行機墜落に關する不再錄號外を發行致しました

安東

安東の水切木材 昨年の約六倍
十三万九千六百六十三本 開港以來の新記録

〔安東發〕事變一段落後引續いて好況を持續してゐる安東木材界は奥地需要激増に原木雖に陷つてゐるが、七月二十日現在の滿鐵江岸現場に於ける原木の水切數量は實に十三萬九千六百六十三本を見、昨年同期の六倍に達し、安東開港以來の記録を示してゐる、だがその割合に集積原木が増加しないのは製材會社の新設及休業状態にあつた會社の復活或は各社の馬力増大によるフルスピードの製材積出が旺盛である結果で、その爲め今後の懸念は冬期中使用されるストツク品に懸つてゐる、其處で要望されてゐるのは採木公司の順當なる流筏であるが、少くともそれまでには同公司の善處に依り目論見通りの流筏のあることを希望されてゐる

安東着郵便物 朝鮮經由に變更さる

〔安東發〕内地朝鮮より安東着の小包及び通常郵便物の大部分は去る四月以來郵便物激増のため船便に依り大連經由逓送に臨時變更されとれが至急復活方に關しては安東商工會議所その他より屢々關東廳當局に對し陳情中であつたが愈々四日より從前通り朝鮮經由逓送されることになつたので今後郵便物は相當迅速に配達される筈で、今まで大連經由のため大連税關に於て不當なる課税を受け返送或ひは再鑑定などの時間の不經濟と不便を蒙つてゐた小包郵便の利用者にとつても大なる福音である

龍王廟戰の跡

〔安東發〕去る三十一日龍王廟に於ける彼我戰闘の現場は龍王廟東方約一里の地點で高粱畑及び附近の山地帶には敵の遺棄以下約六七十の戰死體累々と横はり當時の敵戰を彷彿せしめるに充分で爆撃を加へた一方高粱及び山地にある敵の死骸を續々發見しつつあると共に死體約二十を殘して敗走したが負傷多數の模樣である

碧眼の砲手 敵匪中にあり

〔安東發〕四日午後二時大東溝よりの情報に依れば三日三道崗附近の戰闘に於て守備隊第四大隊第二、三中隊は各一名宛の戰死者と負傷者十名を出した、尚窯溝附近古溝居住民の談に依れば匪賊の砲手に碧眼で滿洲語を解する露人か米人であると語つてゐたと

龍王廟戰 戰死者

〔安東發〕二日の龍王廟附近に於ける戰闘で我後藤部隊の金久保牡吉上等兵は戰死し人見傳一上等兵は負傷した又伊東部隊にも一名（氏名不詳）の戰死者があつた

赤城支隊 奮戰

〔安東發〕五日赤城支隊長は各部隊を統制し敵匪と激戰の後之を潰走せしめ目下追擊中である、又村瀬部隊は極力適走匪の追擊に移り龍王廟北方地區に於て敵の遺棄せる追擊砲彈多數を鹵獲した、尚徑四日大洋河右岸地區に集結し龍王廟を攻擊せる敵は今中部隊の爲めに退却を餘儀なくせしめ警備軍は直ちに下馬戰闘隊形を整へ徐ろに自信ある迫擊彈一午後九時二十分頃よりコロハラオよりの指揮をとらしめ追擊を續行

四平街

快捷の犧牲 伊藤少佐重傷
大林驛近くの激戰

鄭通線錢家店に駐屯する興安省西警備軍（蒙古騎兵）の一隊は去る二日同隊伊藤少佐指揮の下に

〓出動〓　天險に據る匪賊團に彈雨を冒して肉薄接戰中指揮官伊藤少佐不幸賊彈に傷き達德爾加布中尉代つて指揮遂に討伐の目的を達成捕虜九戰死三全員殆んど傷つかぬは無いと云ふ實にせんめつ的打擊を與へた、快討伐戰が展開された恰かも二日午後一時頃鄭家屯通遼間の大林驛から東方二十滿里トコロタ山に匪首黑河の率ゆる約五十の匪賊團襲來の

〓情報〓　を得た伊藤少佐の率ゆる騎兵團はスワとばかり山腹に潛伏田頂其他に監視哨を配置防禦陣地を構築中の匪賊團に對し出動した、午後三時半早くも敵は警備軍の馬首を目掛け猛烈なる射擊を開始したより發射、戰況一進一退實に一時間半に及び頑強なる匪團も前後左右に傷くもの

〓續出〓　動搖を初め陣地を捨てて南方へ敗走した即ち伊藤少佐は全軍を擧げて追擊を下命する殺那俄然一彈は少佐の左足部を貫通歩行困難にやむなく達德爾加布中尉をしての指揮をとらしめ追擊を續行り南方遠く擊破して堂々大林に皈還した、敵は前記の如く九、死者三と無數の負傷者を出し討伐軍側としては指揮官伊藤少佐以外は人馬共

〓捕虜〓　只一つの負傷者も出さず快捷した、尚ほ傷ける伊藤少佐は大林驛に出て通遼警備軍平田一等軍醫の應急手當を受けて機警備列車にて一旦通遼に至り五日午後五時同隊熊代主計少佐附添ひ四平街着直ちに加療の爲め奉天に向つた

七月末に於る 特産在貨

〔四平街支局〕七月末に於ける當地日滿特産商聯合會調査に依る特産在貨は一千三百三十車で前月末の一千四百八十八車に比し百五十八車の減少で、主なる品目數量を擧げて見るに次の如し

品目	本月	前月
大豆	一〇四	一九〇
高粱	三六八	三五四
小米	一五五	二五二
小豆	一〇四	一三二
谷子	一三〇	一三五
玉米	一五五	一七一
蕎麥	二	一四
小豆	七	八
芝麻	三五	六〇
莫豆	二	二

鎮江山に

驢馬登山の用意 秋までには實現か

〔安東發〕鎮江山公園に風變りな十數頭の驢馬を仕立て、登山する者のために用ひその風致を一層添へようと目論まれてゐるい又一方には駱駝をこれには充てやうかとの意嚮もあるが種々な點からやはり驢馬が最上であらうと見られてゐるから多分これが採用されるものと觀測されてゐる當局も努力中で遲くも秋までには實現さすべく懸命で、一般登山者もこれから大に趣は異にしてゐるだけに人氣を博す模樣である

映畫だより

長春座は昨七日夜から久しぶりでロイドものを上映するので前人氣がよかつたから大入を見るであらう、プログラムはジヤツキー進めクオーキーペンターピン主演のオリムピツクといふオールトーキーの日本版、それからロイドの活動狂といふ組み合はせ料金は八十錢學生四十錢小人二十錢、だいぶ涼しくなつて來たので映畫鑑賞にはもつて來いである

海の外から

□英國の大錨　英國の戰艦フード號の怪物一大錨は近く塗り替への運びとなつたが此の怪物は英國海軍部内の最大最長の大錨で千六百二十七個のリングを有し長さ六百二十五ヤード恐らく世界中の錨の王座を占めてゐるだらうと

□ペ州交通法規修正　米國ペンシルヴアニヤ州交通法規は此の程改善修正を加へられ二噸積以上のバス、貨物自動車には必ず萌黄色の警戒標を附着せしめることにした

□金屬性ラヂオ管　英國マルコニー科學研究所では過去二ケ年に亘り研鑽の結果精巧不磨の金屬性ラヂオ管を創製し實驗した所所期以上の好成績を見たと

□今冬顔出しする布製爪　從來米國兒童間に愛用されて來た紙製爪は持ち運び耐久力等の點から布製に改造するを得策とし目下爪造り業者は冬季の用意に忙殺されてゐる、因に布製爪は洋傘式に折り疊むことが出來、持ち運びは便利で、相應の耐久力を有すると

□非常時航空法規出現？　米國航空當局では非常時官民合同の實を擧ぐる爲めチキサス等の大飛場に至る迄、航空機を談話の交換出來る無線電話裝置を農具に備へ付け、必要に應じ農夫は働き乍ら對話出來ると謂ふ非常時航空法規を制定すると而して農具付無線電話の實付演習は八月中に擧行される筈である

魚名	値	魚名	値
コノシロ	三二	ハゲ	一三
アコウ	八〇	グチ	一三
カナガシラ	三三	クダラ	一〇
フカ	一三	イセエビ	六五
車エビ	七〇	コエビ	二六
カニ	六	ハモ	四〇
アナゴ	四八	アワビ	七〇
ハマグリ	六	カマボコ	三二
キサミ	二六	舌	二六
メダカレイ	一六		

三人上戸（連載漫畫）

ベソ「ヤツ、オヂサンガ　キエタ
アレハカミサマダロウカ」
カン「ソウカモシレン」
ゲラ「テンヘカヘツタノダロウ」

ベソ「カミサマノミセガアルナラ
ソノヘンニウロツイテヰルダロウ」
カン「キヨウドウ、イツチデ　サガセ〳〵」

カン「オヂサンガ、デテキタ」
ベソ「キヨウドウ　イツチヘ、■」
クキクナア
ゲラ「クスリヨリモヨクキイタ」

三人「オヂサン、テンヘカヘツタノカトオモツタ」
エキ「チヨツト、オシツコシテイタノダ」

ラヂオ欄

八日（火）新京

奉天後四、〇〇レコード相場商業信社
新京後四、三〇演藝
同後五、〇〇時事解説
同後五、三〇ニュース（滿洲語）
東京後六、〇〇ニュース東京中央放送局編輯
新京後六、二〇語學講座（滿洲語）講師高宮盛逸
六、四〇同（日本語）同植松金枝
同後七、〇〇ニュース（英語）
同後七、一〇ニュース（露西亞語）
同後七、二〇ニュース（朝鮮語）
同後七、三〇ニュース氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
同後八、〇〇演藝
東京後八、三〇時報
同後八、三一ニュース東京中央放送局編輯
新京後八、四五時事解説新京附近に於ける朝鮮人教育の現狀及將來　新京普通學校　鄭恒家

鮮魚小賣相場

魚名	値	魚名	値
活鯛	一三〇	小鯛	六〇
ニベ	一六	ヒラス	三四
スズキ	一六	サバ	四〇
アワジ	二七	カレイ	一六
ヒラメ	一二	ボラ	一二

戀の黒船往來

雜誌轉載上映及上演

（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第百二十三回

溺れぬ人（八）

聞き終つた武七郎も、白軒が山の丸小屋で、はじめて老人の素性をきいたときと同樣に、感動にあふれた深い溜息を洩した。

『はてさて、世にもまれなる平勢をなされたお方でござるのう。して、御老體が山をくだられた眞意は……』

武七郎はそれを白軒に訊いた。

『されば、御老體は、寄る年波にもめげず、胸中にもえる愛國の熱情は若人をしのぐものがござる。小樽勤番所役人たちに追ひまくられ山中深く埋もれてをつたが、拙者お誘ひ申してこれより函館表へお供をいたし、オロシア船へ參らうとの計畫でござつた。その途中際なくも高島の海にて貴殿と出會いたしたやうなわけ……』

『なるほど……では、拙者に義理を盡くされるより御老體をまもつて箱館表へ參られるが至當とおもふ』

武七郎は分別臭い顔をした。

『いや、拙者のはらはすでに決つてをる。是が非でも、黒船襲撃のお供がしたい』

白軒の、希望の眞底には、他人の解せぬふく雜なものが潜んでゐた。

彼の、幻に描いてある黒船には山村紫園が乘つてゐるはず、不覺にも、いまその紫園の豊艶な姿が幻視するたき火の焔のうちにうかんだ。

『では、御老體は？』

武七郎は、カチウド老人をかへりみて白軒にいつた。

『これなるフラメどのが附添ふてをれば、まづ安心……のう、フラメどの、ご苦勞だが御老體のお供をして一先づさきに陸路箱館表へ立つてもらはふ……』

默々として、枯藻をたいてゐるフラメに向ひ、それとなく因果をふくめるやうにいつた。

『……』

が、フラメは、否應の返事もせず、長い睫毛をふせてゐる。

『フラメ殿、そなたにたのむ。箱館表のオロシア船まで、この老體のお供をして行つてくれ、必ず、拙者もそのあとを追ふてゆく……』

『……』

フラメは、いつもの勝氣にもにず、紅唇をかみしめたまゝうらめしさうに白軒を見あげた。

『否、とはいふまい。のう、フラメ』

『いやです』

はつきりと答へた。

『なに！』

『和人の往くところなら、フラメも一緒にゆくよ』

『そ、それではカチウドどのの行先きが案じられる。フラメ、默々を申さずと御老體のお供をしてくれ』

『……』

フラメは、片意地にも、首を横にふつた。

その樣子をじいつと見てゐたカチウド老人は、やつと口をはさんだ。

『松井どの、この女もつれてゆかれるがよい。フラメどのは男まさりだ。けつして磯貝どのゝ足手まとひにはならぬ』

『でも……』

『わしのことかい。わしを心配せいでもよいわ』

『しかし、陸路を箱館までの一人旅では……』

『いや、わしは箱館表へ旅立たうとはいはぬ』

『え』

『實は、その黒船襲撃の一員に、わしも加へてもらはふ』

カチウド老人は、夜あけの寒さにふるえながらも、力づよくはつきりといつての……